

## 合格 12 箇条

(そんなことはわかっているかもしれないが)「でも 気をつけてみた」と覚える。

### ① 「わかる」と「できる」は大違い (量)

わかってもできないのが人間です。この点はスポーツと同じです。  
わかったのなら、何も見ず自力で解いてみてください。それは試験の状態だからです。

- (i) わかったから大丈夫と黒板を写すのをサボる人。
  - (ii) 参考書の答案を写してノートが真っ赤になっただけで終わる人。
  - (iii) 授業で扱った問題は覚えているから解きたくない、と講義用問題の解き直しをしない人。
- これらの人は受かりません。何も見ずに自力で解いた量に成績は比例する と思ってください。  
映像授業で学習する人は、テレビを見る感覚で授業を見て、分かったつもりになり、その後何も見ずに自力で解かない傾向が強いです、注意しましょう。

### ② 文句を言うな

自分の成績が上がらないのを他人のせいにするのは良くありません。  
成功する人は、自分のどこがいけなかったかという考え方をします。  
文句ばかり言う人の多くは、自己中心的な考え方をしており、大学受験に限らずこれからの人生において良い通知が来ないでしょう。

### ③④ 気持ちで負けるな・基本を馬鹿にするな

- ・「絶対に、合格してやる」という意思が強い人(心が真っすぐな人)は、結局、合格します。  
逆に、心が揺れる人はなかなか伸びません。自分の目標の為に頑張っている ことを思い返そう。
- ・典型問題や頻出問題が解けない人は、華やかな定理や公式を知っていても、合格しません。  
そういう定理を紹介すると、講師の人气が上がったり、参考書は売れますが、それは講師や出版社の利益の為であり、受験生のことより自分のことしか考えていません。騙されないようにしましょう。  
大学はそんな能力を求めてはいないので合格しないのです。教科書レベルを求めているだけです。  
教科書を再度全部読みなおし、定理や公式の証明をしてみましょう。

### ⑤⑥ 落ち着いて急げ・教え合え

- ・時間かければ、能力さえあれば解けます。  
全問、急いで解くこと。それはセンター対策にもなっています。ただし、慌てないこと。  
落ち着いて丁寧に急ぐ ことです。その能力は、社会に出てからも重宝されます。
- ・友達同士、教え合う集団の合格率は高くなります。  
なぜなら、人に教えるとき、頭の中を整理して言葉を発する為、理解が確実になるからです。  
また自分で問題を解くとき、説明を極力書くようにしましょう。理由は上と同じです。  
日本語による説明がなく数式だけ書く人は、説明ができないことと同じです。

### ⑦ 詰まったら振返れ

- 試験中、いき詰まると、振返ること。  
詰まったとき、がむしやらに突き進んだり、諦めたりする人が多すぎ ます。
- (i) 何か忘れていないか
  - (ii) 計算間違いをしていないか
  - (iii) そもそも考え方が違う と振り返って(自分を再起動して)、視点を改めよう。

### ⑧⑨ 謙虚に学べ・自分で研究せよ (質)

- ・自分のプライドや妙な自信が、伸び悩んでいる一番の原因の人がいます。  
それに気づくのは、受験に落ちて挫折を味わってからだったりします。謙虚に学びましょう。
  - (i) 「簡単だ」「知っているから余裕」と油断している人。わかっている所は寝る人。
  - (ii) あの授業に出ても得るものがない、などと豪語する人。
  - (iii) 予習で解けたから(数学は得意だから)といって授業を欠席する人。
  - (iv) 〇〇模試で偏差値〇〇だったと自慢する人。そういう人は、たとえ模試でA判定でも、見事に受かりません。  
なぜなら、試験の答案に、性格や普段の様子が現れるからです。  
あなたが採用する側だったら、そういう人を是非採用したいと思いませんか?
- ・なぜその解法が良く、他の解法は良くないのか、を自分で研究する人は伸びます。  
授業も、(i)理由を説明してくれる先生 (ii)別解を言ってくれる先生 が良いです。
  - (i) 理由を言わずやり方だけ言う先生が殆どです。その場合自分で考えましょう。
  - (ii) 別解を先生が言うのは、自然に 解法を互いに比べることになるから です。  
詰まったら、すぐ解答を見ていませんか? 問題を片付ける効率ばかり追っていませんか?  
それは、量をこなす学習と混同しています。  
質を高める学習のときは、試験のときと同じで、解法を比べながら最短ルートを考えましょう。  
だから「自分で研究すること」が近道なのです。  
量をこなす学習に、この質を高める学習を入れると、得点がどんどん上昇します!

### ⑩ 丁寧にやれ

数学を全員学ぶのは「丁寧に忍耐強く、考えること作業することを養うため」です。  
丁寧に考え、丁寧に(綺麗に)書きましょう。問題を大切に扱いましょ。特に、(i)汚い字で書く・斜めに書く・思いついた所に書く(記号など)横着する 人

- (ii) 図が 小さい・汚い・(正三角形などの)特殊な図をかく 人
- (iii) 予習は 計算用紙にやる という人は、得点が低いです。  
「数学が苦手」という人は、「忍耐強く考え丁寧に書くことが嫌いなだけ」ではないでしょうか。

### ⑪ ミスと片付けるな

ミスだ、という人がいますが、日本語のその使われ方は、責任逃れの感が否めません。  
ミスだと言っているうちは、また再発します。それもプレッシャーのかかる本番で再発します。  
なぜ間違えたか 根本原因を考え、解決 すべきです。  
根本原因とは、例えば「実力不足」「時間に追われ焦った」「文字が小さかった」などです。  
模試や定期試験の間違え直し 時に、間違えた事実を素直に認めて、その対策をとりましょ。

### ⑫ 楽しんでやれ

合格するタイプ、伸びるタイプ、があります。そういう人は楽しんでやっています。  
楽しんでなんかいられるか、という人。  
辛い時には下を見ましょ。自分より境遇が惨めな人を考えるのです。  
他人のお金で自分の教養を高めている人がほとんどであり、  
如何に自分が賢沢で我儘を言っているかがわかります。  
自分の目標のためならば、自らすんで、感謝して楽しんで取り組むべきではないでしょうか。

これらを守らないと、残念ながら合格しないようです。是非とも合格して欲しいので、配布します。 永島